

マテリアルライフ学会「耐久性研究会」 会員募集

屋外に使われている構造物は、有機、無機、金属からなる素材や、それらを加工して得られる各種材料で構成されている。特に、有機系材料は、実使用条件下におけるさまざまな劣化因子の影響による物理的・化学的变化により機能低下を生じるために、耐久性、耐候性、寿命予測などに関する総合的研究が求められている。

このような背景のもと、マテリアルライフ学会の研究会として、有機系材料を中心に実使用環境下での耐久性について研究する「耐久性研究会」を発足させたい。本研究会では、屋外暴露試験や実使用された有機系材料について、最新の技術情報と種々の高度な分析評価技術を用いて劣化因子や劣化機構の解明をはかるとともに、得られた知見を活かして実使用環境下での寿命予測や促進試験法について検討を行い、産業の発展に資することを目的とする。主旨にご賛同いただける方の参加をお待ちしております。

本研究会代表 大石 不二夫； 本学会常任理事 神奈川大学名誉教授
幹事 栗山 卓； 本学会常任理事、山形大学
同 滝澤俊樹； 本学会企画委員長、(株)ブリヂストン

1. 参加資格

本学会の会員であり、継続的かつ積極的に参加いただける方で、かつ 次の条件の一つ以上を満たす方。

- (1)耐久性に興味があるので勉強したい方。
- (2)長期暴露品の解析からどのような知見が得られるか興味がある方。
- (3)分析を行い自社の能力の宣伝効果を狙いたい方。
- (4)得られたデータを改良・開発に応用したい方。
- (5)長期暴露結果を短時間で促進耐候性試験機で表現したい方。
- (6)新たな長期結果を予測する試験方法を見つけたい方。
- (7)新たな手段で分析する方法など検討したい方。

2. 活動内容

研究会活動は、研究会会員より研究用として提供された材料について、ワーキンググループ（WG）を設置して行います。WGは、WGリーダーと本研究会幹事が主管となって運営し、WGメンバーは以下の研究活動に積極的に参画いただくことを希望します。

- (1)耐候性に関する問題点、課題の抽出と検討。
- (2)劣化解析手法の検討。
- (3)物性測定、劣化解析結果の検討。
- (4)事例集データベースの作成。
- (5)寿命予測法の検討。
- (6)成果の発表。
- (7)その他必要な事項。

3. 費用負担

- (1)研究会の会費は無料とする。但し、研究会主催の講演会・発表会の参加費は学会規定による。
- (2)測定・解析等に係る費用は、原則として、担当する者の負担とする。

4. 秘密保持と成果帰属

本研究では、サンプルに関する情報や評価手法など秘密保持の対象となるものがあります。秘密保持の対象となる情報は、都度明記して告知しますが、研究会参加者は成果が公開されるまでは秘密保持の徹底をお願いします。なお、成果はマテリアルライフ学会（MLS）に帰属し、共同研究などによる場合は、共同研究先との契約に基づき帰属を決定します。

5. 成果の発表

- (1)本研究会、MLS 年次大会、MLS 学会誌で発表。
- (2)研究の成果を5.(1)以外に発表・公開する場合は、本研究会の規約を順守し、研究会委員長の同意を得たのち、発表・公開を行うことができる。

6. 申込方法 : 氏名、所属、会員番号、連絡先（住所、TEL、メールアドレス）を明記のうえ、郵送、FAX、E-mail で下記まで申し込みください。

マテリアルライフ学会「耐久性研究会」

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-8 大湯ビル3階

TEL : 03-5695-6544 FAX : 03-5695-1939 E-mail : mls@kt.rim.or.jp

*****マテリアルライフ学会 耐久性研究会 入会申込*****

マテリアルライフ学会 耐久性研究会 御中

マテリアルライフ学会耐久性研究会への入会を申し込みます。

氏名	
会社名	
所属	
会員番号	
連絡先 (住所、TEL)	
E-Mail	

秘密保持に関する誓約（申込み後、秘密保持契約内容をご説明し同意いただいた後誓約していただきます）

私 _____ は、本研究会において、秘密情報と明記または秘密情報と告知された開示情報に関し、秘密保持を順守することをここに誓約いたします。